

## 研究テーマ

# 「人口減少社会での地域コミュニティの再生が大切にされる地域づくり」

～地域の子育て力の土台となるコミュニティの再構築に向けたプログラム開発～

教育庁社会教育課

NPO法人おひさまと風の子サロン

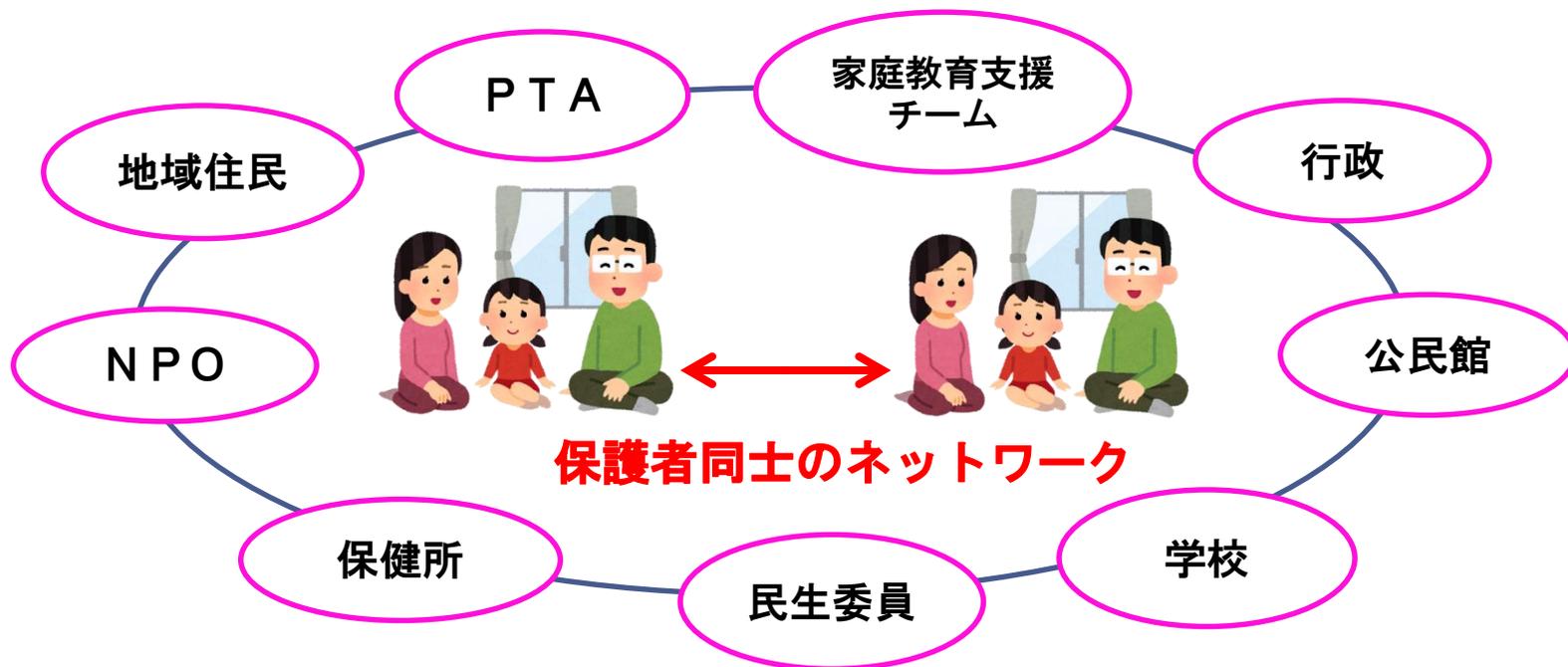
【後見人部局】政策企画部、教育庁



# 1 提言

## 「ゲームでつながる心と人」

ゲームを通して、ネットワークづくり  
⇒地域全体で家庭の支援



# 1 提言

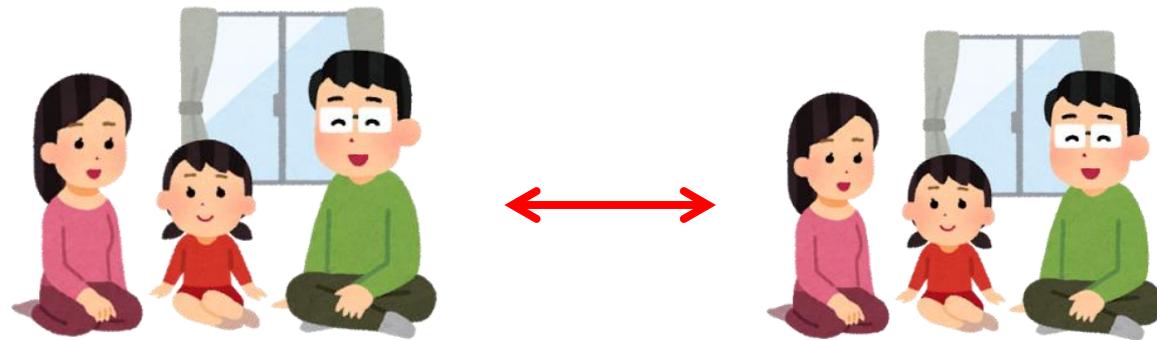
## 「ゲームでつながる心と人」

PTA



入学前の子どもをもつ保護者と在学学生保護者のつながりづくりとして「**親のための応援塾**」を実施しています。

(H30：府内公立小学校の約9割にあたる190校以上で実施)



**保護者同士のネットワーク**

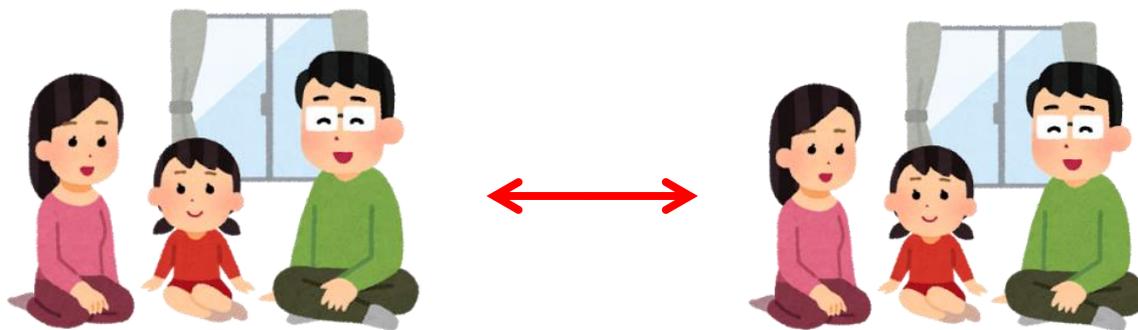
# 1 提言

## 「ゲームでつながる心と人」

NPO



子育て中の保護者が気軽に集まれる  
「子育てサロン」を実施しています。  
(R元年：子育て支援に取り組むNPO  
が府内には約100団体ある。)



保護者同士のネットワーク

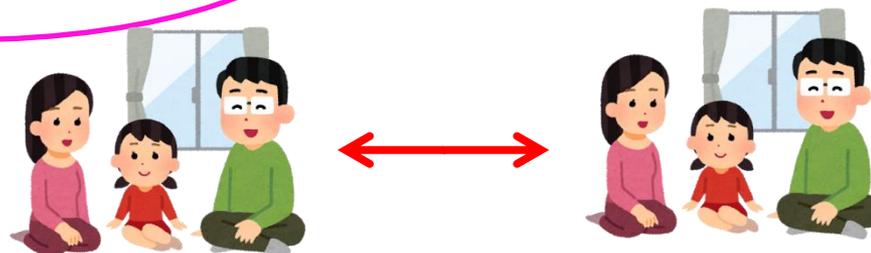
# 1 提言

## 「ゲームでつながる心と人」

家庭教育支援チーム  
おしゃべり会

地域住民  
レクリエーション

行政  
子育て講座



保護者同士のネットワークづくりを目的に  
様々な主体がそれぞれに取り組んでいる

学校  
懇談会・行事

民生委員  
見守り・声かけ

公民館  
行事・講座

## 2 現状・課題



## 2-1 社会の現状・課題

## 2-1 社会の現状・課題

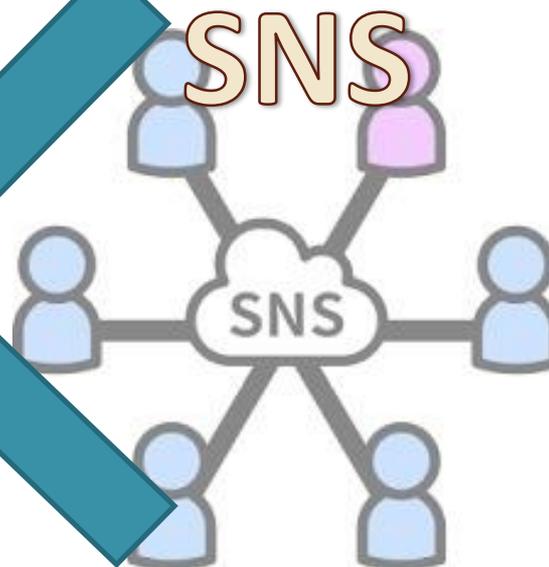
- 人前で意見を言えない。  
相手がどのような反応するのかわからない。  
その反応にどう対応して良いかわからない。

### 経験の不足

オンラインゲーム



SNS



## 2-1 社会の現状・課題

一昔前は...

地域で子育て家庭を見守る様子が見られた。



**地域のネットワークの希薄化**

地域の教育力の低下

孤立する保護者、不安・悩みの深刻化

虐待、不登校など子どもを取り巻く課題

# 2-1 社会の現状・課題

行政  
NPO  
家庭教育支援チーム  
・・・など様々な支援

情報が得られていない



人に聞けない  
聞き方がわからない  
誰に聞いていいかわからない  
人にどう思われるか考えてしまう

コミュニケーション  
による  
価値観の交流・交換

人に聞く経験の不足



## 2-2 既存事業の課題

## 2-2 既存事業の課題 京都府内の家庭教育支援の取組

- 情報提供（リーフレット、HP等）
- つながりの場・交流の場の提供（家庭教育支援チーム、PTA「親のための応援塾」）
- 学習機会の提供（保護者向け講座、PTA指導者研修会、支援者研修会）
- 教育相談（来所・電話・メール相談）
- 個別支援（家庭教育アドバイザー）

## 2-2 既存事業の課題

- ①保護者の学びや育ちを応援する「家庭教育支援」への理解が十分広がっていない
- ②支援者同士がつながっていない
- ③研修会だけでは、人材育成が少しずつしか進まない
- ④保護者の交流方法の選択肢を増やす必要

## 2-3 社会の課題と既存事業の課題を解決したい

- 交流会→話が続かない。進行が大変。
- 子育て講座→人が集まらない。
- 行事→準備が大変、場所、費用も

いずれも参加者が受け身になる。  
また、主催者・進行役が大変。

参加者も 主催者・進行役も  
WIN-WINな方法があれば...

# 3 ゲームのメリット

### 3 ゲームのメリット

- ① 取り組みやすい
- ② コミュニケーションが自然にとれる。
- ③ 「またやりたい」と思える。

**継続と広がり**

# 4 このゲームについて

# 4 このゲームについて



## 4 このゲームについて

### 「〇〇すごろく」

□□地区つながりすごろく

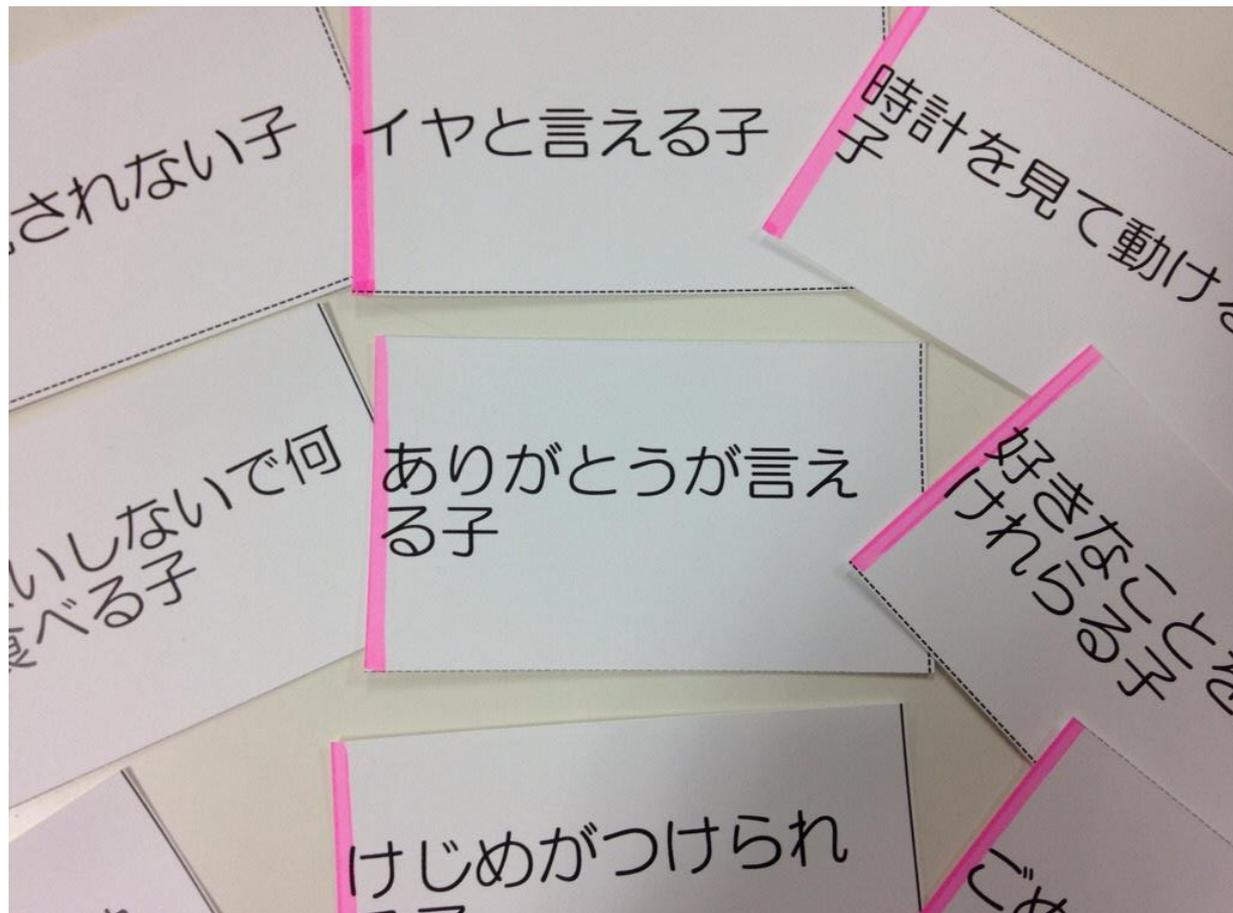
△△小PTA元気すごろく

コミュニティカアップすごろく

自由にネーミングして♪

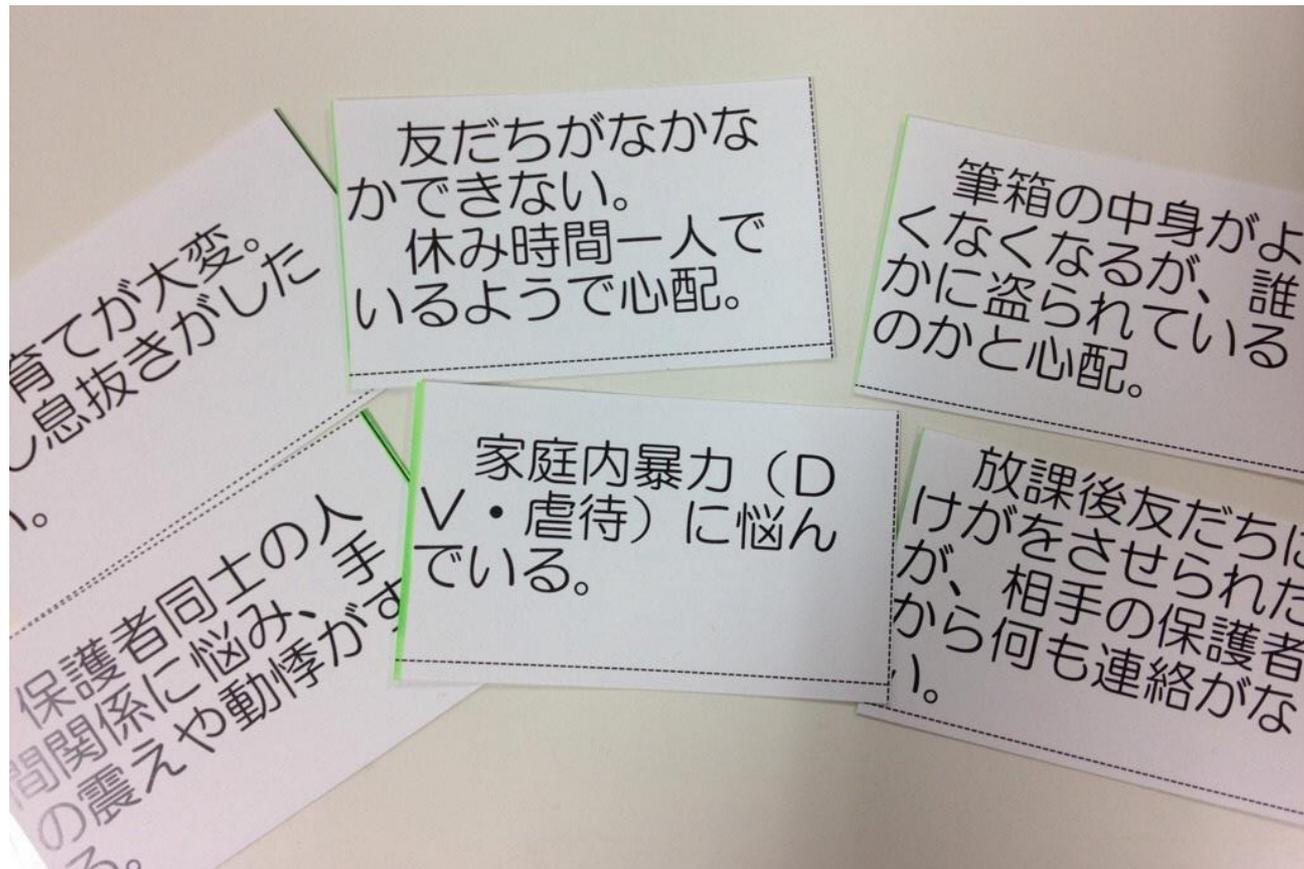
# 4 ○○すごろくについて

- 理想カード



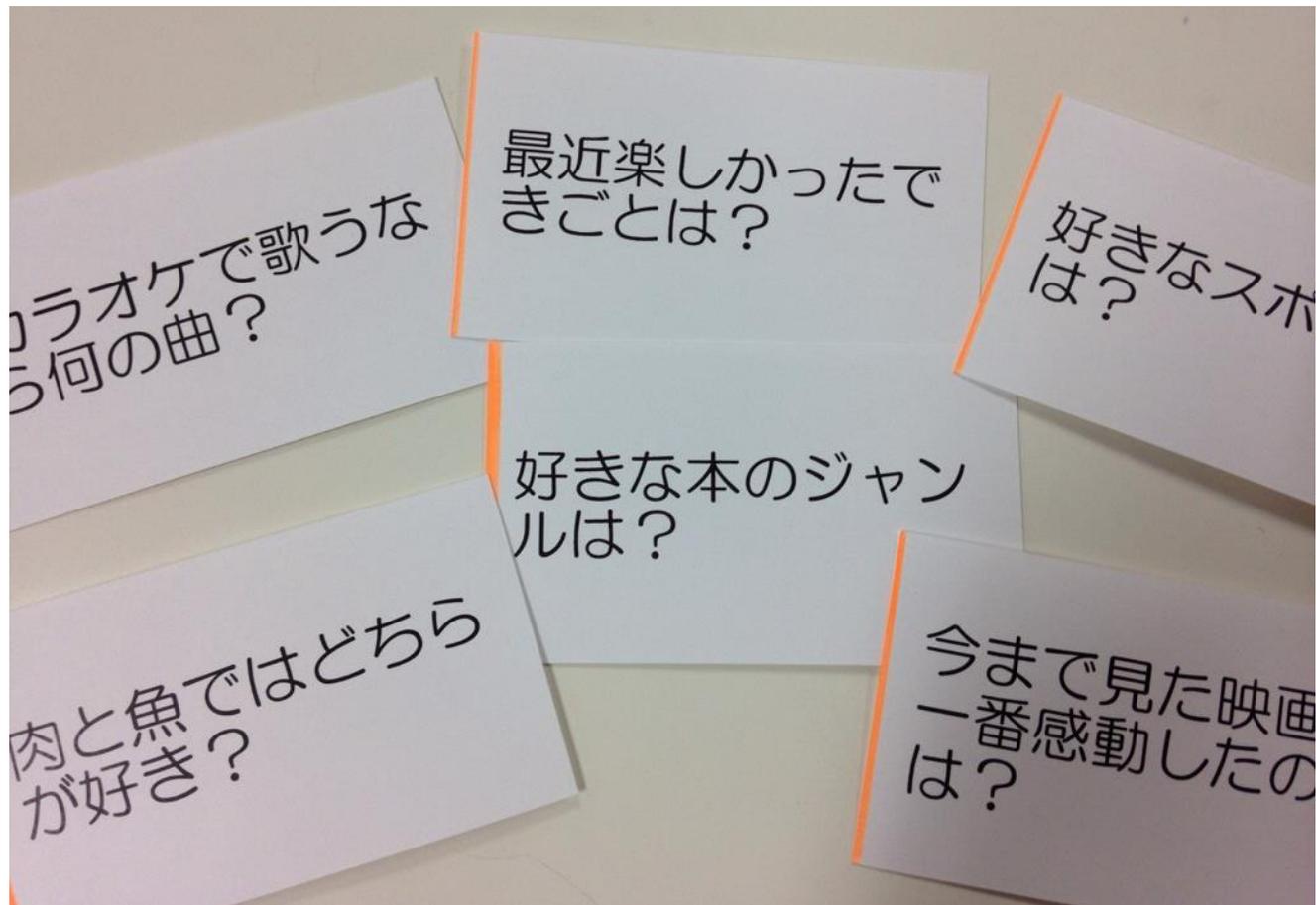
# 4 ○○すごろくについて

## 「質問カード」



# 4 ○○すごろくについて

## 「お楽しみカード」



# 4 ○○すごろくについて

## 例えば、「親のための応援塾」で

1月某日 A小学校入学説明会後のランチルームにて



「A小ドキドキう  
きうきすごろく」  
をやりましょう♪



(来年度新入生の  
保護者)  
なんか緊張...

(在校生保護者)  
楽しい交流会に  
したいな。



(来年度新入生の  
保護者)  
話すの苦手...

# 4 ○○すごろくについて

## 〈進め方の例〉

①自己紹介

②折り紙でコマを作る

（みんなで同じ作業をしてリラックス）

③ファシリテーターがルールの説明

（「いいね」と共感的に反応する。

「ここだけの話にする」等の約束も）

④「お楽しみカード」を並べる。

⑤サイコロを振り、出た目のカードに書いてあるテーマについて話す。

※参加者がほぐれてきたら、2回目以降は、「理想カード」や「質問カード」を入れて

# 4 ○○すごろくについて

## 価値観の交換



つながる力  
解決する力

自信

# 4 ○○すごろくについて

体験の場（ゲーム）を  
とおして



意見  
自信

おしゃべり  
つながり

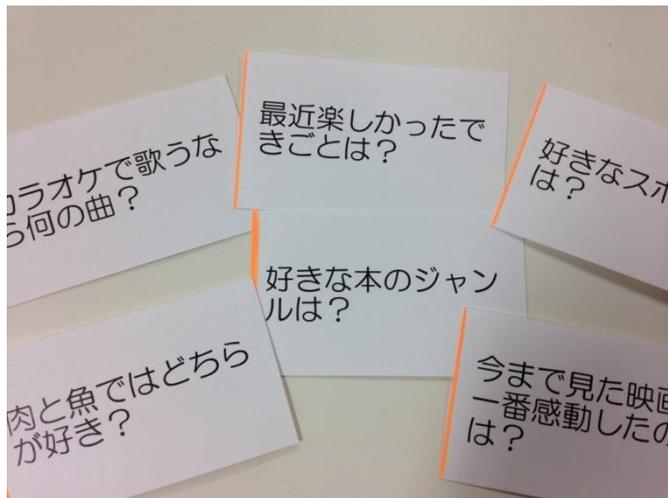
お楽しみ

安全・安心

# 5 ○○すごろくの魅力

# 5 ○○すごろくの魅力

## ● 楽しい雰囲気づくり



# 活発な交流

# 5 ○○すごろくの魅力

## ● 他人事として悩みを相談

相談できない...



これなら大丈夫!



# 5 ○○すごろくの魅力

- 時間の配分ができる ⇒ カードの枚数を調整
- 内容の変更ができる



**つながりづくり**  
⇒ お楽しみカード  
を多く

**悩み・不安**  
⇒ 質問カード  
を多く

# 5 ○○すぐろくの魅力

- 情報の収集・交換ができる

行政  
NPO  
PTAなど団体  
家庭教育支援  
チーム など



支援者



参加者



若者層



年配層

# 5 ○○すごろくの魅力

**バージョンアップができる。**

**真っ白なカードに書き込めば、**

**地域に合ったゲームにバージョンアップ**

# 5 ○○すごろくの魅力

## 解説書

- ゲームのやり方
- アイスブレーキング
- まとめの仕方
- 参加者の心構え

簡単に持ち運び、省スペース、少人数  
でも、省コスト

⇒ いつでも、どこでも、だれとでも



# 6 アンケート調査

# 6 アンケート調査

## アンケート調査概要

### ○調査対象者

内閣府のNPO法人ポータルサイト中、  
京都府内で「子どもの健全育成」の活動  
実績がある法人

### ○実施期間

令和2年2月中旬～令和2年2月下旬

# 6 アンケート調査

## ○実施方法

- ・ 郵送で依頼文を送付
- ・ QRコード読取り後、指定サイトから回答
- ・ もしくは、返送よる紙ベースでの回答

## ○回答団体数／調査団体数

48団体／100団体

回答率 48%

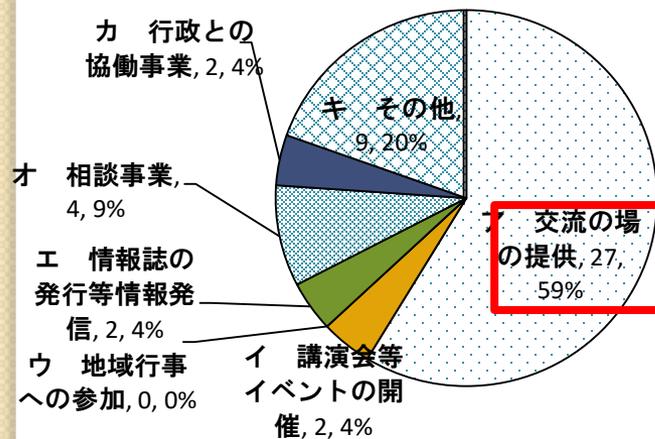
## 6 アンケート調査

○質問内容（選択式・複数回答含む）

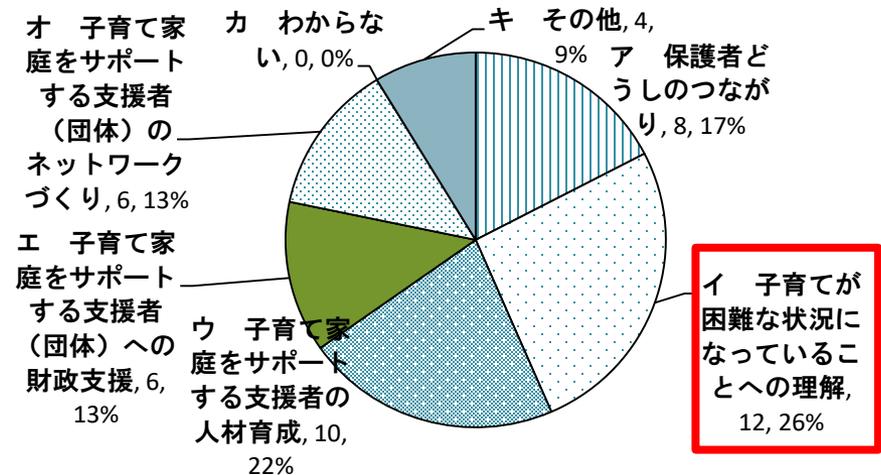
- ・一番力を入れて行っている活動は。
- ・地域で子育て家庭を見守る体制づくりを構築するために最優先で取り組むべきことは。
- ・対話や自分事としての気づきを促すために、どのようなツールを活用されているか。
- ・子育て環境向上のために地域コミュニティ再生のきっかけとなるプログラムが開発するとしたら、どのようなものなら活用したいか。 等

# 6 アンケート調査

Q1 貴法人で一番力を入れて  
行っている活動は何ですか。  
(回答総数46)

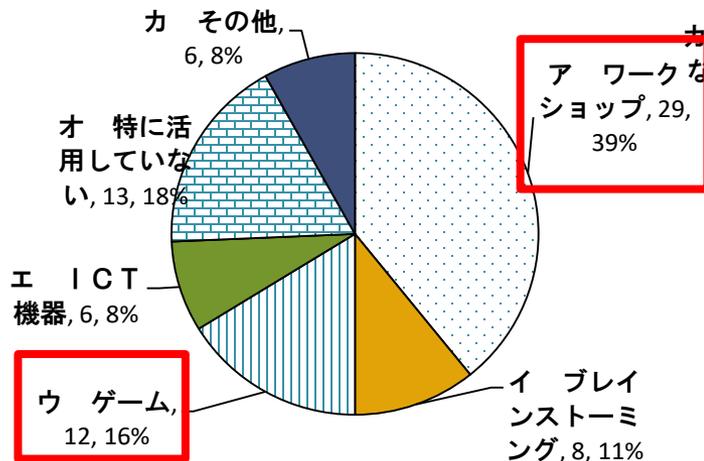


Q5 地域で子育て家庭を見守る体制づくりを構築するために最優先で取り組むべきことは何ですか。  
(回答総数46)

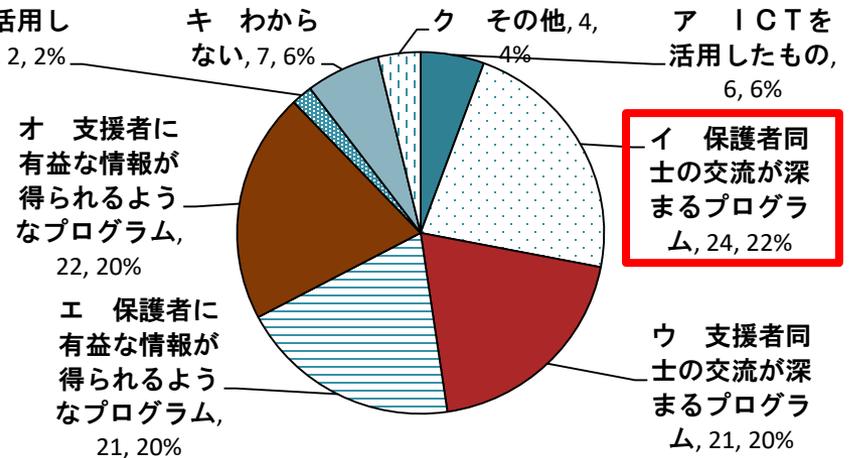


# 6 アンケート調査

Q8 貴法人で対話や自分事としての気づきを促すためにどのようなツールを活用されていますか。(複数回答:回答総数74)



Q9 子育て環境向上のために地域コミュニティ再生のきっかけとなるどのようなものでしたら活用したいですか。(複数回答:回答総数107)



# 7 試行していただいた団体の声

## 7 試行していただいた団体の声

子育てサロンや相談支援をされているNPOに〇〇すごろくを試してもらいました。

(参加者：NPOスタッフ、幼児・小学生保護者)

# 7 試行していただいた団体の声

- ①結構盛り上がりました。いつも一緒に活動している仲間なのに、お楽しみカードの答えは、「そうなんだ」という風にわかることが多くあった気がします。
- ②日頃考えたことのない問題や事柄が出てきたときに、考えるという作業があり新たな気付きもあった気がします。
- ③このようにすると大変話しやすくなります。懇談や、PTAの会合などに使うこともいいのではないのでしょうか??

## 7 試行していただいた団体の声

- ④いろいろなところに話が飛んだりして膨らんでいくことがとても面白い。
- ⑤聞きにくいこともこれなら話しやすい。
- ⑥中身が調整できるので、いろいろな場面で使える気がします。



# 8 人がつながる地域コミュニティ づくりの提案

## 8 人がつながる地域コミュニティづくりの提案

- 1) 地域コミュニティをつくる  
中核となる人材を育成
- 2) ○○すごろくの活用による  
地域コミュニティづくり

# 1) 地域コミュニティをつくる 中核となる人材を育成

## ファシリテーターの育成

### ■目的

- ・子育て世代、高齢者、若者等幅広い世代のつながりづくりを促す人材を育成する。
- ・ファシリテーターの人数を増やすことにより、府内各地の地域コミュニティ活性化を目指す。

### ■対象者

家庭教育支援チーム構成員、行政職員

子育て支援を行っているNPO法人、民生児童委員、  
公民館等社会教育施設関係者、PTA等の地域住民 等

# 1) 地域コミュニティをつくる 中核となる人材を育成

## 家庭教育支援関係者研修会

家庭教育支援チーム  
市町の家庭教育事業担当者  
保健所  
児童相談所  
子育て世代包括支援センター  
民生・児童委員  
主任児童委員  
社会福祉協議会  
子育て支援団体 など

P T A 指導者研修会

公民館研修会

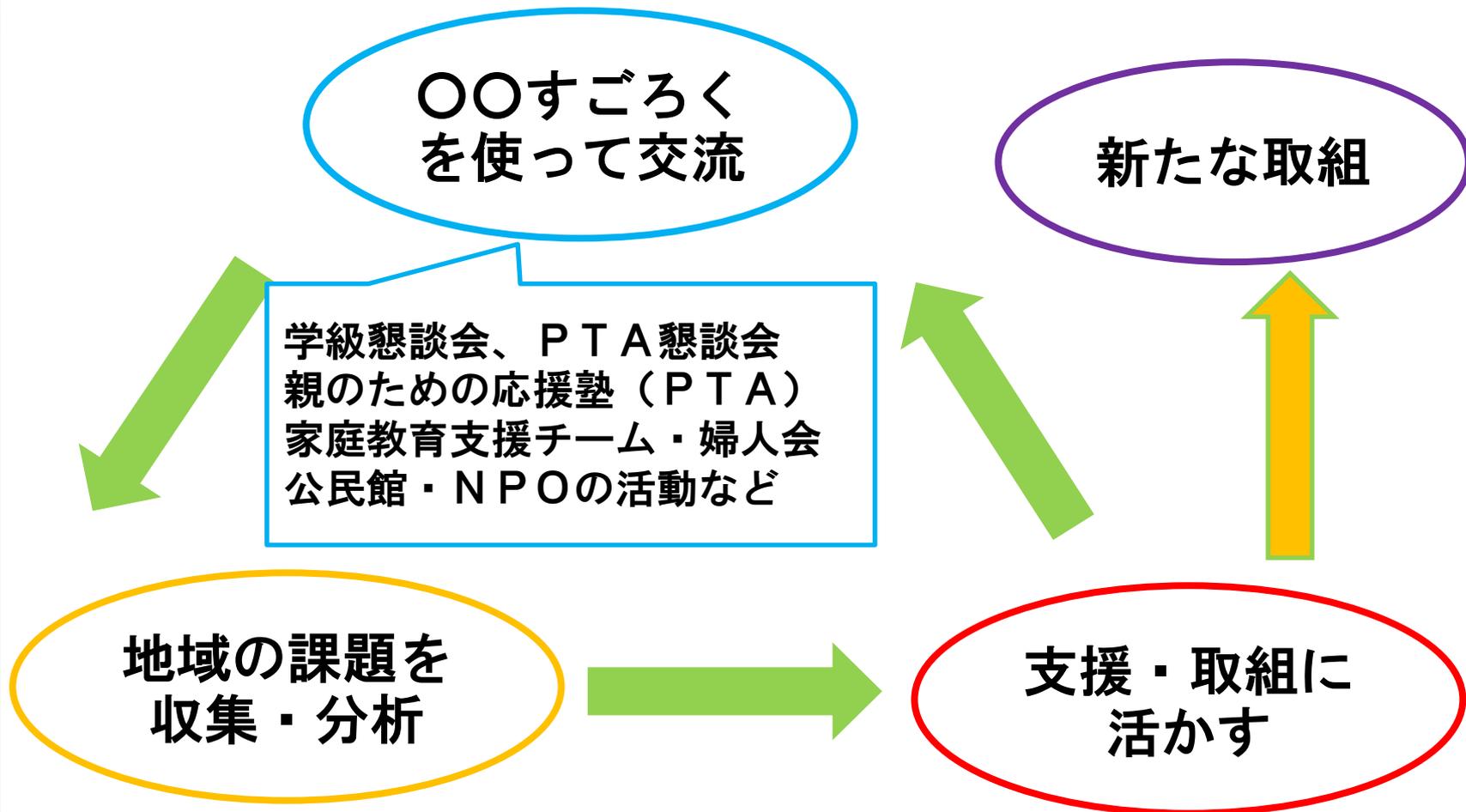
婦人会研修会

社会教育行政職員  
研修会

社会教育委員  
研修会

家庭教育支援関係者や地域のリーダー的立場にある方々の研修会でファシリテーターを育成また周知・広報  
→それぞれの地域で「〇〇すごろく」を活用

## 2) ○○すごろくの活用による 地域コミュニティづくり



# 8 人がつながる地域コミュニティづくりの提案

「WITHコロナ」に対応

- ○○すぐろくのデータをHPに掲載  
⇒手軽に実践できる
- YouTubeで活用事例を紹介  
⇒○○すぐろくの活用の促進、バージョンアップを図る
- ZOOM等の活用  
⇒NPOなどがファシリテーターとなり、気軽に相談できる環境づくり

# 「〇〇すごろく」でつなげる心と人 →地域のネットワークの希薄化を改善

	R1	R2	R3	R4	R5
ファシリテーター育成		家庭教育支援関係者研修会	ファシリテーター養成講座 家庭教育支援について、保護者との関わり方、 〇〇すごろくの活用方法 等 (年間100人)		
周知・広報			PTA、婦人会、公民館、行政職員等の 研修会で広報 (年間2,000人)		
			すごろくデータ、紹介動画を HP、SNS等に掲載		
ツール開発と活用		サンプル作成	300セット 作成配付 市教委、PTA、 支援チーム、NPO 等が活用	情報収集・改良 改良版を作成 オンライン交流会	

# Face to face

## 人がつながる地域コミュニティづくりを



**ご静聴ありがとうございました。**